

## 平成25年度 第1回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時 平成25年5月10日(金) 14:00～17:20  
 場 所 管理棟3階 大会議室  
 構 成 員 34名 出席者25名 欠席者9名

1号委員 (琉大病院長)	村山 貞之 (代理) 百名 伸之
2号委員 (県立中部病院長)	松本 廣嗣
(那覇市立病院長)	照喜名 重一 (欠席)
3号委員 (北部地区医師会病院長)	諸喜田 林 (代理) 柴山 順子
(県立宮古病院長)	安谷屋 正明 (欠席)
(県立八重山病院長)	依光 たみ枝 (代理) 上盛 厚子
4号委員 (沖縄県医師会長)	宮城 信雄 (欠席)
5号委員 (沖縄県歯科医師会長)	比嘉 良喬
6号委員 (沖縄県薬剤師会長)	神村 武之 (代理) 宮城 敦子
7号委員 (沖縄県看護協会会長)	奥平 登美子 (欠席)
8号委員 (沖縄県政策参与)	
9号委員 (沖縄県福祉保健部長)	崎山 八郎 (欠席)
10号委員 (がんセンター長)	増田 昌人
11号委員 (医療福祉支援センター長)	村山 貞之 (代理) 新垣 久美子
12号委員 (琉大薬剤部長)	宇野 司 (代理) 外間 惟夫
13号委員 (琉大看護部長)	下地 孝子
14号委員 (琉大事務部長)	深澤 博昭 (代理) 渡名喜 一夫
15号委員 (県立中部病院血液・腫瘍内科部長)	玉城 和光 (欠席)
(県立中部病院乳腺外科部長)	上田 真
(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文 (代理) 足立 源樹
(那覇市立病院外科部長)	宮里 浩 (代理) 又吉 隆
16号委員 (北部地区医師会病院看護部長)	柴山 順子
(県立宮古病院外科部長)	奥濱 幸博 (欠席)
(県立八重山病院副看護部長)	上盛 厚子
17号委員 (沖縄県がん患者会連合会長)	田名 勉
(がんの子供を守る会 沖縄支部)	片倉 政人
(沖縄県がん患者会連合会)	安里 香代子
18号委員 (特定非営利活動法人日本医療政策機構理事)	埴岡 健一
(沖縄タイムス編集局社会部記者)	儀間 多美子
(特定非営利活動法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
19号委員 (琉大病院歯科口腔外科長)	新崎 章
(琉大病院病理部長)	加藤 誠也 (欠席)
(琉大病院第一外科長)	西巻 正 (欠席)
(琉大病院骨髄移植センター長)	百名 伸之
部会説明者 緩和ケア部会長	笹良 剛史
がん登録部会長	部会長不在 (代理) 仲本 奈々
研修部会長	宮国 孝男
相談支援部会長	樋口 美智子
地域ネットワーク部会	佐村 博範 (代理) 増田 昌人
普及啓発部会	長井 裕
がん政策部会長	天野 慎介
陪席者 沖縄県福祉保健部医務課医療対策班主幹	親富祖 ちか
健康増進課健康づくり班主任技師 新里 逸子	
健康増進課健康づくり班主任技師 友利 邦子	

**資料確認** 増田委員から資料の確認があった。

**議事要旨・議事録の確認** 増田委員から議事要旨・議事録の説明・確認があった。

- ・議事要旨の確認 増田委員から資料1の第1回幹事会議事要旨（平成25年4月15日開催）の確認があった。
- ・議事要旨の確認 増田委員から資料2の第4回協議会議事要旨（平成25年1月18日開催）の確認があった。
- ・議事録の確認 増田委員から資料3の第4回協議会議事録（平成25年1月18日開催）の確認があった。

**委員紹介** 百名議長代理から、次のとおり新規協議会委員の紹介があった。

- ・2号委員 県立中部病院 病院長 松本 廣嗣
- ・3号委員 県立八重山病院 病院長 依光 たみ枝
- ・14号委員 琉球大学医学部附属病院 事務部長 深澤 博昭
- ・16号委員 県立宮古病院 外科部長 奥浜 幸博
- ・19号委員 琉球大学医学部附属病院 歯科口腔外科長 新崎 章

## **報告説明事項**

### **1. 沖縄県がん診療連携協議会・幹事会・部会委員一覧**

増田委員から、資料4に基づき、本協議会委員名簿、幹事会名簿及び7つの部会名簿について報告があった。

### **2. 平成25年度幹事会・協議会の開催日時について**

増田委員から、資料5に基づき、平成25年度幹事会・協議会の開催日時について報告があった。

### **3. 埴岡委員からの報告**

埴岡委員から、資料6に基づき、全国のがん計画の着目点について報告があった。  
主な内容は以下の7分野における全国46都道府県施策の好事例の紹介であった。

- (1) がん医療の充実と従事者の育成分野
- (2) がんと診断された時からの緩和ケアの推進分野
- (3) 地域の医療・介護サービス提供体制の構築分野
- (4) がんに関する相談支援と情報提供分野
- (5) がんの教育・普及啓発分野
- (6) がん患者の就労を含めた社会的な問題分野
- (7) 評価と指標分野

### **4. 天野委員からの報告**

天野委員から、資料7に基づき、厚生労働省で検討されている国の施策について報告があった。  
主な内容は次のとおりであった。

- (1) 今後のがん診療提供体制のあり方について
  - ・拠点病院のうち、2次医療圏を中心とした地域がん診療病院（仮称）と拠点病院とのグループ指定の検討
  - ・特定領域で高度な診療機能を持つ医療機関と拠点病院とのグループ指定の検討
  - ・拠点病院の臨床研究機能の強化
- (2) 「緩和ケアセンター」の具体的推進方策について
  - ・将来的には全てのがん診療連携拠点病院に緩和ケアセンターを設置することを目標として、はじめに都道府県がん診療連携拠点病院に設置していく予定。
- (3) 患者QOL評価指標検討の考え方及び今後の調査等について
  - ・患者QOL評価の指標候補の検討
- (4) がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業について

## 審議事項

### 1. 沖縄県の今後のがん対策について

沖縄県医務課の親富祖主幹から、資料8に基づき、沖縄県の今後のがん対策について次のとおり説明があった。

- (1) 沖縄県保健医療計画（第6次）の概要
- (2) 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の概要
- (3) 沖縄県保健医療計画
- (4) 沖縄県がん対策推進計画

このことについて、委員から次のような意見等があった。

- ・ 国立がん研究センター在宅緩和ケア連携カンファレンスで、沖縄のがんサポートハンドブックが先進的な事例として紹介されていたが、沖縄の患者さんとお話すると、主治医からがんサポートハンドブックを手渡しされていない拠点病院もあるとのことなので、速やかに改善してほしい。
- ・ 離島地域からの渡航費の補助について、平成25年度の沖縄県の予算措置はあるか。
- ・ がん患者に特化したものではないが、平成25年度も離島へき地の対策として渡航費助成はある。
- ・ がん対策推進協議会の開催頻度はどのくらいか。
- ・ 具体的な開催日程は決定していない。
- ・ 専門家集団である沖縄県がん診療連携協議会や部会を有効活用してはどうか。
- ・ 認定看護師取得のため、県外の機関等へ半年間の研修に行く際には、医療従事者の育成確保という観点から、沖縄県からも財政的な支援を行ってほしい。

審議の結果、親富祖主幹が各種の意見を持ち帰り検討することとなった。

### 2. 各部会事業の5年間の実績および今後の目標について

#### (1) がん登録について

仲本がん登録部会委員から、資料9-1に基づき、がん登録情報の利用の現状と課題について説明があった。

主な内容は次のとおりであった。

- ・ 院内がん登録情報の利用の現状と課題について報告し、委員から意見やアイデアをいただきたい。
- ・ 沖縄県では、現在データの公開を許可されている沖縄県の3つの拠点病院の集計結果を、琉球大学医学部附属病院がんセンター及び本協議会HPにて公開をしている。
- ・ 3つの拠点病院のデータのみでは、沖縄県のがん診療の実態を把握することはできないが、拠点病院以外の医療機関のデータを収集し集計する余裕がない。
- ・ 院内がん登録データを活用してもらうにはどのような方法があるのか。
- ・ がん腫ごとの部位別の割合や治療法の割合、生存率、施設別等、患者さんの立場からどのようなデータ項目がよいのか。

このことについて、委員から次のような意見等があった。

- ・ 現在、国はがん登録の法制化を検討している。
- ・ 5年生存率は統計上算出に時間が掛かるかもしれないが、施設別にだしてほしい。
- ・ 院内がん登録に参加している施設の治療内容や治療成績が、一覧形式で分かるようにしてくれると患者に分かり易い。
- ・ 患者の立場からすると、がん登録をすることによるメリットがみえにくいし、HPでの統計資料の公開についても、一部の患者しか見ないので、患者の立場から有用であると認識されるようになれば、登録率が上がるのではないか。
- ・ 患者への分かり易い情報提供のために、マスメディアの活用も検討してはどうか。
- ・ 分かりやすくグラフ化する等、表示方法も工夫してはどうか。
- ・ がん登録を全病院で行うためには、予算が必要だと思う。

## (2) 緩和ケア研修会について

笹良緩和ケア部会長から、資料9-2に基づき、緩和ケア研修会の実績と今後について説明があった。

主な内容は次のとおりであった。

- ・2008年から2012年まで、沖縄県で緩和ケア研修会を終了した人数は、514名。
- ・緩和ケア医学会が開催している指導者研修会の修了者数は全国19位、41名。うち精神腫瘍学の指導者研修会修了者14名
- ・現在、沖縄県全体の医師数は3,276人であり、そのうち半数が、がん患者に係わっていると考えられ、残り5年で約1,000人の医師が緩和ケア研修を終了できるかが課題となっている。

このことについて、委員から次のような意見等があった。

- ・がんに携わる医師という言葉の定義を、仮でも良いので決めて、それに基づいて母数を算出して受講を促すようにしてはどうか。
- ・緩和ケア講習会は、現在、土日の2日間で開講されているが、これを短縮することは出来ないか。
- ・専門医を取得する際に、緩和ケア研修会を終了していることを条件としてはどうか。
- ・緩和ケア研修会を終了された先生方に、本当に患者のことを考えて、人として適切な緩和サポートをお願いしたい。

## 3. その他

なし

## 報告事項

### 1. サポートハンドブック第3版発行のお知らせ（相談支援部会）

樋口相談支援部会長から、資料10に基づき、サポートハンドブック第3版発行のお知らせについて、2万部印刷し、県内の医療機関等へ配布予定であるとの報告があった。

このことについて、天野委員及び田名委員から、全国的に見ても質の高いハンドブックになっているにもかかわらず、患者さんに十分に行き渡っていない状況を、早急に改善してほしいとの意見があった。

### 2. 平成24年度第4回 沖縄県がん診療相談支援員実務者研修会について（相談支援部会）

樋口相談支援部会長から、資料11に基づき、平成25年3月15日に沖縄県立中部病院にて開催され、54名が受講した平成24年度第4回沖縄県がん診療相談支援実務者研修会についての報告があった。

### 3. 緩和ケアフォローアップ研修会について（緩和ケア部会）

笹良緩和ケア部会長から、資料12に基づき、平成25年3月2日に沖縄県医師会館において開催され、28名が参加した緩和ケアフォローアップ研修会について報告があった。

### 4. 今年度の緩和ケア研修会開催日程について（緩和ケア部会）

笹良緩和ケア部会長から、資料13に基づき、今年度の緩和ケア研修会開催日程について報告があった。

### 5. 在宅緩和ケアマップの作成について（緩和ケア部会）

笹良緩和ケア部会長から、資料14に基づき、在宅緩和ケアマップの作成について報告があった。

### 6. 各種研修会の報告について（研修部会）

喜舎場副部会長から、資料15に基づき、平成25年2月2日に那覇市立病院で開催され、23名が参加した「化学療法及び放射線療法とその副作用に関する研修会」及び平成25年3月11日に沖縄県立中部病院において開催され、30名が参加した「第7回地域がん診療連携拠点病院講演会脳腫瘍の早期診断と治療」について報告があった。

**7. がん検診ポスターコンテスト受賞作品の波及効果・小学校 PTA 主催の文化教養講演会について（普及啓発部会）**

増田委員から、資料 1 6 に基づき、株式会社宮平乳業の好意で牛乳パックにがん検診ポスター広告をしてあげていること及び天草市役所から当該ポスターを天草市のがん検診の通知に使用したいという依頼があったことについて報告があった。

**8. 第 3 回メディアセミナー&ドクターin 沖縄の開催のご案内（普及啓発部会）**

増田委員から、資料 1 7 に基づき、平成 2 5 年 5 月 1 1 日に琉球新報において開催予定の第 3 回メディアセミナー&ドクターin 沖縄について報告があった。

**9. 平成 24 年度第 3 回 院内がん登録研修会について（がん登録部会）**

仲本部会委員から、資料 1 8 に基づき、平成 2 5 年 3 月 9 日に沖縄県立中部病院において開催された第 3 回院内がん登録研修会について報告があった。

**10. 沖縄県 4 施設における QI 測定結果のフィードバック会（がん登録部会、沖縄県がん医療の質の向上センター）**

増田委員から、資料 1 9 に基づき、平成 2 5 年 2 月 1 日（金）に中部病院、那覇市立病院、琉球大学医学部附属病院、平成 2 5 年 2 月 2 日（土）に中部徳洲会病院において開催された沖縄県 4 施設における QI 測定結果のフィードバック会について報告があった。

**11. 第 2 回 がんピアサロンの報告について（沖縄県地域統括相談支援センター）**

増田委員から、平成 2 5 年 2 月 2 7 日に沖縄県庁 1 階県民ホールにおいて実施したがんピアサロンについて報告があった。

**12. その他**

なし

**各部会報告事項**

時間の都合上紙面報告となった。